



綾瀬市道の駅導入施設検討 ワークショップ通信

綾瀬市では中心市街地における賑わい創出、地域の暮らしや新たなコミュニティのための拠点として、道の駅の整備を検討しています。今年度は綾瀬市に関わる皆さんにご参加いただき、道の駅に導入したい施設について議論するワークショップを開催しました！

ワークショップ開催概要

事業者向けワークショップ（全2回）

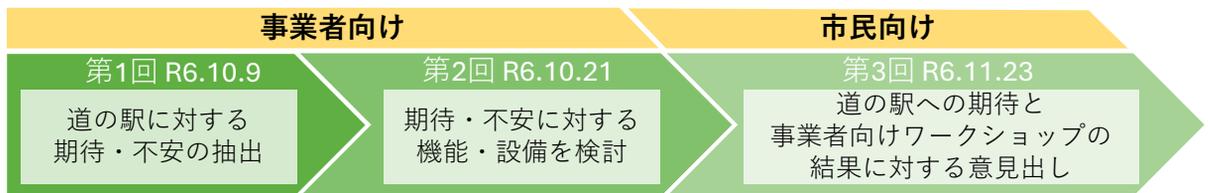
日時：令和6年10月9日（水）、令和6年10月21日（月）
 参加者：市内農商工業関係団体 1回目18名 2回目15名
 内容：事業者が「稼ぐ」「交わる」という視点で、どのように
 “道の駅を使い倒すか”、必要な機能やサービスを検討しました。

綾瀬で事業・生活をする方にご参加いただきました！



市民向けワークショップ（全1回）

日時：令和6年11月23日（土・祝）
 参加者：市内在住・在勤・在学の中中学生以上を対象に公募した21名
 内容：生活における課題感をふまえ、市内の生活者が
 「交わる」「暮らす」という視点から必要な機能やサービスを検討しました。



稼ぐ

事業者の収益に直結する機能

- 物販施設※
- 飲食施設※
- イベントスペース※
- キッチンカー／レンタルスペース※

交わる

事業者や市内外の利用者が交流する機能

- 飲食施設※
- イベントスペース※
- 体験スペース※
- 調理加工施設
- 情報発信施設／設備※
- 交流／集客施設※

暮らす

市民の暮らしの課題や不足を解決する機能

- 物販施設※
- 飲食施設※
- イベントスペース※
- 体験／レンタルスペース※
- 情報発信施設／設備※
- 交流／集客施設※
（交流できる場、居られる場）
- 子供の遊び場
- 交通手段
- 防災機能
- 犬と過ごせる場所

皆さんから出た要望は、この表の通りです。物販施設や飲食施設だけでなく、「産業を発信」や「交流」「居場所」に関する意見が多かった点が印象的でした。

※印は重複する項目

要望が挙げられた施設の詳細は、次頁以降でご紹介します。

1 「稼ぐ」機能

物販施設

- 地場産品、市内者の開発商品の販売
- 道の駅限定商品による差別化
- ショールームでの展示販売
- オリジナルグッズの販売
- 工業製品の千円ガチャ
- 綾瀬ブランド認証の制度化



地元の農産品や工業製品をもっと身近に感じられる施設となってほしいです

とうもろこしアイスやあやびい・ブタッコリーグッズ等綾瀬ならではのモノを！



飲食施設

- 地場の農畜産物を使用したメニュー
- 自動調理システムによる調理
- 企業が会合でも使用可能
- 宴会や飲食を1か所で担える



昼夜を問わないコミュニティの場があるといいな



家族でのんびり食事ができたり楽しいイベントが開催されると嬉しいわ



イベントスペース

- 季節ごとのイベント開催
- 技能五輪やロボット対戦の開催・聖地化
- 米軍基地との連携、フードイベント
- みんなが利用できるスペース



文化交流等、子どもたちが学べる場にもなるといいですね



キッチンカー／レンタルスペース

- 各国の名物料理など幅広いフードメニュー
- 新規出店や店舗運営のチャレンジスペース

チャレンジできるような場があると嬉しいです



2 「交わる」機能

体験スペース

- 工業製品のものづくり体験
- 体験農園

工場見学や体験農業、調理体験の機会が欲しいな



交流・集客施設

- みんなでつくるシンボリックなオブジェ
- 集客の目玉となるような機能

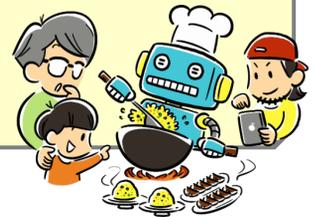


みんなでつくるオブジェは楽しそうですね施設に対する愛着が沸きそうです



調理加工施設

- 郷土料理の継承
- 共同調理・加工
- 料理教室・栄養講座



綾瀬市の産業を知ったり地域文化が継承される機能を期待します



情報発信施設／設備

- 市内情報の紹介（産業・芸術・スポーツ等）
- ロケ地巡礼ツアーの紹介
- 事業者・人の繋がりをつくる窓口機能



3 「暮らす」機能

子どもの遊び場

- 天候を気にせず遊べる屋内・屋外空間
- 子育て世代の交流できる場
- 知育玩具や絵本を配置したキッズスペース
- ワクワクする大型遊具やアスレチック
- 親の目が届く遊び場
- 体験スペースと連動したコンテンツ



みんなの居場所になるといいね



防災機能

- 災害時の食/住環境の提供
- 避難所、物資輸送拠点としての機能
- コンテナハウスの活用
- RVパークの設置

地域の拠点として
災害時にも活用できると
安心につながります



交通手段

- バスを中心とした交通網の充実
- 施設へのバス停設置
- 自動運転車両の導入
- 送迎シャトルバス等の運行による自家用車に限らず老若男女が来訪できる仕組み



道の駅で飲み会もできるなら
帰りの交通手段があるといいですね

その他の機能

- ドッグランや犬と一緒に食事ができる場所
- 幅広い来訪者が利用できる交流&休憩所

道の駅はドライバーや地域住民のほか、
観光客やランナー、サイクリストの方
なんかも利用するのかな



ワークショップの様子

お忙しい中ご参加をいただいた皆様、当日は本当にありがとうございました。



▲ 事業者向けワークショップには農商工事業者の皆さんが集合し、2日に分けて道の駅を「使い倒す」ために必要な機能について、産業間の連携も意識して議論しました。



▲ 幅広い年齢層の方にご参加いただいた市民向けワークショップでは、互いの声に耳を傾けながら、暮らしの中での課題解決に向けて道の駅に対する期待が多く挙げられました。

ビジョンマップ

ワークショップでのご意見をもとに、道の駅をイメージしたビジョンマップを作成しました。



実施後の意見など



道の駅整備への関心度合いの変化

ワークショップを通じ、参加者の7割以上の方から関心度が上がったという回答を頂きました。

道の駅のイメージ

「交わる」「変化」「体験」「連携」「魅力」に類するワードが多く挙げられました。(右表)

自由意見

期待の声

- 綾瀬の活性化のために、街の目玉になることを期待しています。
- 新しい事に挑戦しないと街は良くなりません！だからこそ、賛成です。
- 「どこにもない綾瀬らしい」というコンセプトをしっかり守りつつ、本当に必要なものを、大事な市のお金を使って作ってあげたいと思っています。

道の駅のイメージとして挙げられた意見

分類

子どもも大人も皆が笑顔で憩える綾瀬の駅	交わる
国際交流の街 綾瀬	
都会に最も近い田舎の駅 市民が集う道の駅	変化
生まれ変わる綾瀬	
常に進化し続ける道の駅	
未知の体験ができる道の駅あやせ	体験
農商工連携したもの	連携
ときめきを、綾瀬	魅力

不安の声

- 今でも渋滞している場所なので、更なる悪化につながらないか不安です。
- 市内産品を多く売り場に揃えることができるのか。
- オープン当初だけでなく、賑わいが続く施設になり得るでしょうか。結果的に事業費が市民の負担になってしまうようなことはないようにしてほしいです。

編集後記

この紙面の中に書き切れないほど、参加者の皆様から道の駅への期待や不安も含めたくさんの意見を頂き、その熱量を感じました。

市内農商工業の起爆剤とともに、市民生活の利便性向上のため、頂いた意見を活かして、中心市街地のシンボルとなるような施設の検討を進めてまいります。

発行者

綾瀬市 都市部 道の駅整備推進室

☎0467-70-5662

企画運営：株式会社流通研究所

ビジョンマップデザイン：鈴木純

令和7年2月28日発行